



開会式では被災地へ黙とうを捧げました



開会式で挨拶する五木さん

5月15日に、当町出身で名誉町民の五木ひろしさんを招いて、第23回美浜・五木ひろしまマラソンが丹生特設会場から菅浜までの海岸線コースで開催されました。

大会には、県内外から4,054人のランナーが集まり、全16部門で競技が行われました。前日の土砂崩れでコースの一部が通行不能になったため、20kmの部は15kmに変更されました。



菅浜給水所で水分補給



潮の香りを感じながら海岸沿いを走ります

また、今大会は、東日本大震災による被災地の復興を祈念・支援することを目的に開催され、会場では募金箱の設置やチャリティーバザーが行われました。

五木さんは、競技のスターターを務め、また競技後にはミニコンサートを開く等して、大会を盛り上げました。

部 門	出走者数 (人)	優 勝 者	タイム (時・分・秒)
15km一般男子	669	山口 信之 (滋賀県)	0:52:29
15km一般女子	69	若井 希実 (滋賀県)	0:59:01
10km一般男子	875	高木 将臣 (兵庫県)	0:33:06
10km一般女子	158	甲斐 あや (京都府)	0:40:43
5km29歳以下男子	270	網谷 敏宏 (美浜町)	0:16:16
5km30歳代男子	259	川原 章義 (兵庫県)	0:16:10
5km40歳以上男子	432	扇山 和則 (岐阜県)	0:17:12
5km29歳以下女子	52	高原 美咲 (愛知県)	0:21:21
5km30歳以上女子	124	毛利貴代美 (越前市)	0:22:21
3km50歳以上男子	132	武田 清美 (兵庫県)	0:09:58
3km一般女子	158	芦田 美雪 (京都府)	0:11:41
3km中学生男子	119	前田 健吾 (美浜町)	0:10:26
3km中学生女子	109	富田 鈴奈 (京都府)	0:11:05
1.5km小学生男子	54	宮崎 航 (富山県)	0:04:57 大会新
1.5km小学生女子	40	佐藤 果歩 (敦賀市)	0:05:36
1.5km親子	534	(267組)	



ゲストランナー



大南 敬美 さん

(2003 名古屋国際
女子マラソン 優勝)

15km 一般女子の部に参加



大南 博美 さん

(2007 ロッテルダムマラソン 優勝)

1.5km 小学生と一緒に走った後
10km 一般女子の部に参加

※このほかに、野沢香苗さんが3km 一般女子の部に参加しました。

▷ 3km 中学生男子の部で優勝



前田 健吾 さん(佐野)

被災された人の中には、走りたくても走れない人がたくさんいると思います。今の自分にできることは力一杯走ることだと思います。全力で走った結果、優勝できてとても嬉しいです。

走っている時に見えた美しい海が素晴らしいと思いました。大会に参加したことで、この町とのつながりができたと思います。今後機会があれば、ぜひ美浜町でコンサートを開きたいですね。

▷二胡走者!?(ゲストランナー)



野沢 香苗 さん
(二胡奏者・丸岡町出身)

Interview

▷親子で快走



左・森下 大さん(佐田)
右・森下 聖さん(佐田)

小学2年生の息子と一緒に、好天の中を気持ちよく走ることができました。息子は疲れたようでしたが、去年と比べ大分速くなっていました。来年もまた参加したいと思います。

アップダウンのあるコースと暑さのため、心が折れそうになりましたが、15kmを完走することができました。沿道からの応援が温かく、また給水所も充実しており、安心して走ることができました。

▷給水所が充実してますね



左・永森 涼子さん(石川県)
右・高橋 智絵美さん(福井市)

大会スタッフの皆さん

ありがとうございました

県内外から多くのランナーや観客が集まるこの大会は、さまざまな場所で活躍するたくさんの方のボランティアスタッフによって支えられています。今大会でも、約700人のスタッフがそれぞれの持ち場で役割を果たし、大会を支えてくれました。



REMのメンバーは自転車でコースを巡回し、ランナーの救護にあたりました



来場者の喉を潤した湯茶接待



駐車場の整理



ゴミ回収

▷特設会場・駐車場



武田 道夫さん(菅浜)

気温が高く心配しましたが、ランナーに氷を配る等の暑さ対策のおかげで、大きな事故は起きませんでした。回を重ねるごとにこれまでの経験が活かされ、充実した救護体制になっていると思います。

10年程前から、毎年駐車場係をしています。担当場所は車の数が多く混雑する所ですが、無線で連絡を取りあい、スムーズに誘導できました。来場者のマナーもよかったですね。

▷菅浜救護所



椎崎 巧さん(救急救命士)

Interview

▷美浜ジュニアリーダーズクラブ



左・藤長夏生さん
右・玉井理映子さん

朝から暑かったので、たくさんの方がお茶を飲みに来てくれました。「おいしい!」と声に出して飲んでくれる方もいましたよ。町の大きなイベントで、地元に活気が出るのは嬉しいことです。

選手受付やランナーズチップの回収、会場内のゴミ回収等の仕事をしました。ゴミ箱からゴミがあふれていて、拾うのが大変でした。「ありがとうございました」とお礼を言われた時、人の役に立てる喜びを感じました。

▷特設会場・湯茶接待所



丹生婦人会の皆さん



五木ひろしふるさとコンサート



マラソン大会前日の5月14日に、「五木ひろしふるさとコンサート」が総合体育館で開催され、県内外から約1,200人の観客が来場しました。

五木さんは新曲の「月物語」をはじめ、数々のヒット曲や被災地への支援ソングとして作曲した「一街」等を熱唱し、観客を魅了しました。

また、コンサートには、五木さんのほかに、石原詢子さん（歌



↑ 岩本恭省さん(左から4人目)、石原詢子さん(左から5人目)、野沢香苗さん(右から2人目)

手へ、岩本恭省さん（ものまねタレント）、野沢香苗さん（二胡奏者）がゲストとして登場し、4人に美浜ジュニアリーダーズクラブから花束が贈呈されました。

美浜町から

「がんばろう日本！」

募金が集まりました。

翌日のマラソン大会では、会場内に募金箱を設置し、また会場各所に「がんばろう日本！」と書かれたのぼり旗を立てました。開催の趣旨に賛同していただいた各団体による飲食物やTシャツ、帽子等のチャリティーバザーも行われ、多くの人で賑わいました。



↑ コンサート後、募金を呼びかける五木さん



↑ マラソン会場で行われたチャリティーバザー